

平成26年度第2回「東山の未来」区民会議

日時 平成27年3月17日(火)
15時～
場所 東山区役所3階大会議室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 報告事項

(1) 東山区基本計画の進ちよくについて p 1

(2) 平成26年度実施事業の進ちよくについて

① 平成26年度東山区まちづくり支援事業について p 2

② 東山区教育フォーラムについて p 6

③ まちづくりカフェ@東山について

④ お地藏さん・地藏盆ブックレットの発行について p 7

(3) 平成27年度東山区区民提案・共汗型まちづくり支援事業
について p 8

(4) プロジェクト型事業について p 10

4 そ の 他

(1) 東山区のキャッチフレーズについて p 14

(2) 委員の改選について

5 閉 会

報告事項 1 東山区基本計画の進ちよくについて

1 東山区基本計画「東山・まち・みらい計画2020」について

2010年までの10年間を計画期間とする第1期東山区基本計画に続く第2期の計画。2011年度（平成23年度）から10年間が計画期間。

2 東山区基本計画前期推進プログラムについて

東山区基本計画の推進を着実にを行うため策定。平成24年3月に策定し、実施期間は平成26年度末までの約3年間。

「東山・まち・みらい計画2020」で掲げている69項目の取組項目のうち、20項目の重点取組項目を最優先に推進することとした。

3 区基本計画の進ちよく状況の確認方法について

各局及び区役所各室・課に区計画の取組項目を提示し、該当事業の進ちよく状況について確認した。

4 区基本計画の進ちよく状況について

各取組項目について、進ちよく状況を未着手、継続中、完了の3つに分類した。結果は以下のとおり。進ちよく状況の詳細は別紙「東山区基本計画を推進する事業の進ちよく状況一覧」のとおり。

なお、各取組項目に該当する複数の事業がそれぞれ異なる進ちよく状況であった場合（例えば一方が「継続中」、もう一方が「完了」）、1つ以上の事業が「継続」に該当している場合は、「継続」に分類した。

(1) 取組項目全体（69項目）

- ・ 継続中 66項目（96%）
- ・ 完了（事業終了） 3項目（4%）
- ・ 未着手 0項目（0%）

(2) 重要取組項目（20項目）

- ・ 継続中 19項目（95%）
- ・ 完了（事業終了） 1項目（5%）
- ・ 未着手 0項目（0%）

報告事項2 (1) 東山区まちづくり支援事業について



1 課題解決型事業

	事業名	団体名	事業概要
1	六原学区における空き家活用啓発事業	六原学区自治連合会	学区内の建物が適切に維持管理され、空き家が放置されない環境をつくることを目的に、空き家所有者に対する調査及び空き家の課題や活用に関する啓発活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・六原フェスタにおける啓発パネルの展示及び無料相談会 (10/26) ・住まいの応援談開催 (11/11, 2/26) ・空き家活用意向アンケート調査及び所有者相談
2	東山「本とまち」プロジェクト	東山・図書館チーム	「本とまち」をキーワードとして、世代を超えたネットワークを構築することを目的に、東山図書館など区内各所でテーマ展示やビブリオバトル(参加者がそれぞれ面白いと思う本を紹介し、観戦者による投票数を競うブックイベント)などを実施し、本や読書を通じて多くの人が交流できる機会を区内で展開する。 <ul style="list-style-type: none"> ・東山図書館でのテーマ展示(毎月更新) ・京女図書基地・東山出張所開催(6/26) ・太閤まつりにおけるポスター展示(9/13~15) ・全国学生ビブリオバトル予選会開催(10/19) ・第2回東山ブックフェスタ開催(2/1)
3	豊かな自然や歴史を堪能できる散策コースの創出	白川を創る会	白川をはじめとして魅力的な観光資源を有する地域の魅力を住民が再認識するとともに、地域外へ発信していくことを目的に、自然と歴史を堪能できる散策コースづくり及び散策イベント等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・白川あかり茶の湯めぐり開催(9/20) ・秋の白川清掃実施(10/4) ・先進事例(奈良市)の学習会(11/8)
4	赤ちゃんクラブ事業	学校法人泉涌寺学園泉山幼稚園	東山区南部地域を中心に、子育ての楽しさを実感してもらうこと、子育て中の親の仲間作りを支援することを目的に、産後ボディケア、親子ヨガ教室を実施するほか、子育てに係る講演会を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> ・おたのしみ赤ちゃんクラブ開催(3/7)
5	高齢者の見守り相談と居場所づくり	三条まちづくり協議会	三条鴨東地域の高齢者を地域ぐるみで見守る仕組み作りをすることを目的に、福祉分野の関係機関とも連携し、高齢者が外出するきっかけ作りとなる多彩なイベント等を企画・実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・見守り・相談活動(2か月に1回程度) ・認知症に関する講演会(9/26) ・高齢者の見守り・相談・交流会(12/7, 2/8)

六原学区における空き家活用啓発事業
住まいの応援談（11/11, 2/26）



東山「本とまち」プロジェクト
第2回東山ブックフェスタ（2/1）



豊かな自然や歴史を堪能できる散策コースの創出
秋の白川清掃（10/4）



豊かな自然や歴史を堪能できる散策コースの創出
先進事例（奈良市）の学習会（11/8）



高齢者の見守り相談と居場所づくり
認知症講演会（9/26）



2 自由提案型事業

	事業名	団体名	事業概要
1	スマイルミュージックフェスティバル事業	特定非営利活動法人 音の風	出演者も来場者も共に音楽を楽しむことで、障害のある方の音楽活動の場を広げることを目的に、東山区内の障害のある方を中心とした音楽事業である「スマイルミュージックフェスティバル」等のイベントを開催する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東山区民ふれあいひろば出演 (5/25) ・ 貞教福祉まつりに出演 (11/1) ・ スマイルミュージックフェスティバル開催 (3/1)
2	東山区発の、ダンスによる子ども育成を通じた地域力創造プログラム 2014	NPO法人 ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク	ダンスを通じて心身ともに健康な「生きる力」を蓄えた子どもたちを育成することを目的に、区内の子どもを対象に、ダンスアーティストや音楽家を招き、ワークショップ及び公演等を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市三条学童保育所・放課後ほっと広場 交流夏祭り出演 (8/2) ・ 三条まちづくりフェスタ 2014 に出演 (11/2) ・ 東山開晴館育成学級での1日ダンス授業 (3/6)
3	京都東山南部・太閤祭り	東山南部地域活性化委員会	東山南部地域の活性化を目的に、京女茶道部による豊国神社でのお茶席や、近隣寺社の特別拝観(半額)の実施、大和大路でのテントで陶磁器の展示即売会、轆轤体験、利き酒、アートパフォーマンス等のイベントを実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 太閤まつり開催 (9/13~15)
4	宮川町夏まつり	宮川町地域振興会	市の無形文化遺産にも登録された「花街の文化」の魅力を発信することを目的に、綾傘鉦の巡行、芸妓・舞妓によるもてなしと舞踊の披露(宮川町ビアガーデン)等のイベントを実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 宮川町夏祭り開催 (7~8月)
5	東山広報プロジェクト	東山 アーティスト・プレイスメント・サービス実行委員会	東山区の活性化を目的に、8月7日~10日に開催される六道まいりと同時期に開催される周辺地域のイベントを広報する。また、期間中に芸術家による光のワークショップを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のイベント広報のためのうちわ作成 ・ 光のワークショップ「アイス大作戦 ~30秒で手に入れる!~」開催 (8/8, 10)
6	天才アートミュージアム・新道アトリエの活用拡大事業	特定非営利活動法人 障害者芸術推進研究機構	障害のある人の絵画作品の研究・紹介等を通じて障害のある人とない人の交流や区民への啓発を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品画像のデータベース構築のための高画質カメラによる作品撮影作業に着手 (10月~)

スマイルミュージックフェスティバル事業
スマイルミュージックフェスティバル(3/1)



東山区発の、ダンスによる子ども育成を通じた
地域力創造プログラム2014
学童夏祭りでの発表(8/2)



撮影：草本利枝

京都東山南部・太閤祭り
今様(9/14)



宮川町夏まつり
舞踊ステージ(8/1~15)



東山広報プロジェクト
地域のイベント広報のためのうちわ作成



天才アートミュージアム・新道アトリエの活用拡大事業
作品画像のデータベース構築のための作品撮影作業



報告事項 2 - (2) 東山区教育フォーラムについて

1 日時

平成26年11月21日 午後6時30分～8時30分

2 場所

東山区役所 3階 大会議室

3 内容

(1) 講演

- ① テーマ 「支えあう子どもたちに学ぶ」～東日本大震災を通して教育を考える～
- ② 講師 文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 長田徹氏

(2) パネルディスカッション

- ① テーマ 東山を担っていく子どもたちを育てるために
- ② パネリスト
長田徹氏, 村岡東山泉小中学校校長, 鷲頭東山区長
- ③ コーディネーター
初田東山開晴館校長

※ 司会は、子ども育みサポーターの藤内純一氏

4 参加者

98人



司会の藤内氏



講演の様子1



講演の様子2



パネルディスカッション

アンケートから

1 長田氏の講演

- ・ 「学校は地域に浮かぶ船」。内容は感動的でした。学校と地域の繋がりこそ肝要だと感じました。
- ・ 他人のことを思える子どもたちの力が子どもたちの心の中に育っているということ。学校、地域、先生、住民、学生、生徒、すべての輪がパワー。
- ・ 講演の内容の一言一言が重たく胸に響きました。“支え合う”という言葉の意味や尊さについて深く感銘しました。

2 パネルディスカッション

- ・ 10年後の話は印象に残った。地域はその場その場の社会情勢に流されやすい。先を見据えることと主体性が大事だと改めて感じる機会になった。
- ・ 2校になったコンパクトさを生かす教育。地域に対する思いが学校を支えている。自分の住んでいるところの良さに気づくことが大切。

報告事項 2 - (4) お地蔵さん・地蔵盆ブックレットの発行について

(広報資料)

平成 27 年 3 月 12 日
東 山 区 役 所
(地域力推進室 電話 561-9105)

「お地蔵さんの物語～お地蔵さんと地蔵盆のお話～」の 作成について

平成26年11月、次世代へ継承すべき貴重な民俗行事であるとして、「京の地蔵盆ー地域と世代をつなぐまちの伝統行事」が”京都をつなぐ無形文化遺産”に選定されました。

東山区役所では、この機会にお地蔵さんや地蔵盆のことをより多くの方に知っていただけるよう、京都女子大学家政学部生活造形学科の江口ゼミの3回生の皆さんの御協力のもと、お地蔵さんや地蔵盆の歴史と意義等についてわかりやすく紹介する冊子「お地蔵さんの物語～お地蔵さんと地蔵盆のお話～」を作成しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 タイトル

「お地蔵さんの物語～お地蔵さんと地蔵盆のお話～」

2 仕様

A5サイズ、オールカラー60頁

3 発行部数

3,000部

4 配布場所

東山区役所等

5 特徴

- ・ 大人の方だけではなく、地域の伝統文化やまちづくりの未来の担い手であるお子さまたちにもお読みいただけるよう、見開きの左側を大人向け、右側をふりがなと親しみやすいイラストのついたお子さま向けのページとしました。
- ・ お地蔵さんのイラストは、京都女子大学家政学部生活造形学科の江口ゼミの3回生の皆様に御協力いただきました。

6 その他

東山区では、「地域の魅力再発見」と称して、区内の知られざるスポットを訪ねる「まち歩きツアー」や、区内にたくさんある「お地蔵さん」についての講演会等を実施しており、今後も東山区における歴史や文化等に関する様々な情報を発信していきます。

【表紙】



【見開き】



平成27年度 東山区区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算（案）

1 区民提案型事業

プロジェクト型事業

(2,250千円)

1 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進に関するプロジェクト

「高齢者の見守り支援・居場所づくり」の成果を踏まえ、区内の空き地等を活用した「高齢者の生きがいづくり」及び「社会参加の仕組み」を構築し、引きこもりの防止や介護予防につなげるとともに、世代間交流や地域の活性化を図る。

- (1) 家庭菜園として活用できる空地等を借り受け、特に男性高齢者が参加しやすい野菜づくりを通じて他の高齢者や地域の方と交流する「Urgic (アーグリック: Urban agricultural communityを略した造語) 事業(仮称)を実施する。
- (2) 高齢者の知識や経験を就労や社会参加に生かすための仕組みとして、Urgicを発展させ、高齢者と地域を結ぶジョブ・コンソーシアム(東山区基本計画では「東山シニアお助け隊」(仮称)と称している。)の創設に向けた検討を行う。



2 ユニバーサルツーリズムに関するプロジェクト

「だれもが観光を楽しめるまち東山」を実現するため、地域や大学と連携し、ユニバーサルツーリズムの更なる推進を図る。

平成27年度は、「東山観光支援コミュニティ」や平成26年度に新たに開校した「東山おもてなし学校」等の枠組みを活用し、高齢者や障害者、外国人の観光客に関する多彩な講習会を実施するなど、区民ぐるみのおもてなし力の向上に取り組む。



「車いす体験講習会」



「観光案内で使える英会話講習会」

3 手しごと職人に関するプロジェクト

これまで行ってきた職人の現状調査や手しごとの魅力の発信から、集積してきたデータを活用し、職人同士の情報共有を図り、職人の情報を発信する職人データベースを運用するほか、手しごと活性化のためのサミットや多彩なイベントを開催する。

- (1) 職人同士の情報共有を図るとともに、手づくりの品を求めている方々のために、簡単に素材別・技法別等で検索できる「職人データベース」を運用し、職人同士のネットワークづくりを図るとともに、幅広く情報を発信する。
- (2) 後継者不足などの課題を多くの方に発信し、職人の未来について考えるサミットや手しごとの活性化のためのイベントを開催する。開催にあたっては、参加者が職人の手作業を見学するだけでなく、自ら手しごと体験できる内容を盛り込むなど、より多彩で魅力ある内容を検討していく。
- (3) 職人の現状を更に多くの方にとってもらうため、好評を得ている「弾丸ツアー」を拡大・継続して開催する。



職人弾丸ツアー



職人サミット

東山区 予算額 13,820千円
 一般財源 13,340千円
 (特定財源 (HPバナー広告) 480千円)



東山シンボルマーク

課題解決型事業・自由提案型事業

(3,590千円)

課題解決型事業

東山区が抱える課題の解決に資する事業

- ・ 区基本計画に定める20の重点取組項目の推進に資する事業
- ・ **子育て・教育環境の向上に資する取組 NEW!**
- ・ **防犯力・防災力の向上に資する取組 NEW!**

助成対象経費の4分の3以内又は50万円のいずれか低い額を助成

自由提案型事業

地域の魅力を高める事業又は地域の活性化につながる事業

助成対象経費の2分の1以内又は50万円のいずれか低い額を助成

小規模事業

まちづくり活動の芽を力強く支援するため新設。

比較的小規模な事業(事業規模が概ね15万円以下)について、高率で助成(1年限り)。

助成対象経費の10分の9以内又は10万円のいずれか低い額を助成

※ その他まちカフェ事業(「まちづくりカフェ@東山」の参加者相互が協働して行う事業)も継続して支援(助成対象経費の10分の10以内又は5万円のいずれか低い額を助成)

※ 他に地域の安心安全ネットワーク支援事業(330千円)

2 共汗型事業

(1) 東山区の魅力発信

事業名	事業概要	平成26年度の取組
充実 魅力再発見！歩いて楽しむ東山 (250千円)	東山の歴史や文化、産業等の魅力を体験できるまち歩きコースの開発のほか、地域の地蔵盆の振興を地域コミュニティの活性化につなげるため、26年度中に作成する「お地蔵さん・地蔵盆ブックレット」を活用した講習会(7月頃実施予定)の開催等、東山区のさらなる魅力の掘り起こし・発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> こま犬や地蔵、東山の地理や歴史等をテーマに、区内の隠れた名所を巡るまち歩きツアー及び地域の講演の実施 「京都をつなぐ無形文化遺産」の第3号に選定された「京の地蔵盆」にちなみ、「お地蔵さん・地蔵盆ブックレット」を作成
東山区基本計画の推進 (818千円)	京都市「東山の未来」区民会議の運営、中期推進プログラムの策定	<ul style="list-style-type: none"> 京都市「東山の未来」区民会議の開催 (11月、3月)
区政情報の発信 (1,202千円)	区来訪者向けホームページ「歩いて楽しむ東山」やFacebook、Twitter等による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 区内大学への市民しんぶん区版の配架 (5月～) 区Facebookページの運用開始 (4月～)



地蔵まちあるき



京都市「東山の未来」区民会議



地域での講演



大学への区版の配架

(2) 安心安全のまちの推進

事業名	事業概要	平成26年度の取組
新規 「安心安全のまち東山」の推進 (150千円)	区民、警察、消防、区役所が連携し、高齢者や子どもへの安全、防災等「安心安全のまち東山」の実現に取り組む(社協、民協、自主防災会等との意見交換会、すこやか学級や健康教室等への防犯・防火・防災に関する出前講座等)。	<ul style="list-style-type: none"> 「安心安全のまち東山」ネットワーク会議を設立 区民の皆様への周知のため、パレードを実施 (10/9) 民生児童委員を対象とした講習会を実施 (11/12)
充実 つながる防災コミュニケーションの実現 (250千円)	防災訓練、防災研修会、防災をキーワードにしたまち歩きやかくれ川マップの作成、地域連携による防災企画等を通し、防災活動から地域・世代・知識・情報をつなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいひろば (5/25)、京都サングガ区民デー (10/11) 等で学生と連携した防災啓発ブース出展 東山区防災研修会の開催 (8/4)



安心安全パレード



防災研修会

(3) 人づくりと地域の活性化

事業名	事業概要	平成26年度の取組
新規 「子育て・教育のまち東山」の推進 (300千円)	東山開禧館及び東山泉小中学校をはじめとする区内の子育て・教育機関等と連携し、子育て・教育への区民の関心を高めるフォーラムの開催等を通じて「子育てしやすいまち『東山』」を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 子ども育みサポーター、小中一貫校等と連携協力し、「東山区教育フォーラム」を開催 (11/21)
充実 区民ふれあい事業 (4,180千円)	区民の運営・参加のもと、ふれあいひろば等の事業を実施する。平成27年度は、「子育てしやすいまち東山」のコンセプトをふれあい事業の方針としても掲げ、全てのふれあい事業において、子ども・子育て世代に対する内容を充実させる。 (実施例) 「子どもまち」と「ふれあいひろば」の融合 子ども文化財鑑賞会(親子鑑賞会や座禅・説法体験)等	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいひろば (5/25)、文化財鑑賞会 (10/11)、ふれあい作品展 (11/4～10)、ふれあい子どもまち (2/21) の4事業を実施
まちづくりカフェ@東山の運営 (500千円)	東山区のまちづくりに関心のある方々が集い、自主的なまちづくり活動を行うための交流や情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 交流会を5回、チームミーティングを3回開催。



教育フォーラム



ふれあいひろば



子どものまち



まちづくりカフェ@東山

報告事項4 プロジェクト型事業について

1 地域の見守り支援プロジェクト

(1) 目的

高齢者を地域住民全体で見守るセーフティネットの構築を進めるとともに、高齢者と地域社会との交流を深め、地域の活性化のための取組を行う。

(2) チームメンバー

山田健司京都女子大学准教授（生活福祉学科）をリーダーに、区社会福祉協議会、地域包括支援センター、地域介護予防推進センター、地域の住民、大学生や区役所職員で構成

(3) 主な実施内容

① 高齢者等に対する買い物支援

今熊野学区内で、1人で買い物をするのが困難な方への支援（付き添い、買い物代行）を実施（買い物応援隊）。また、学区内の2箇所で購入中などに休憩できる場所を開設・運営（ほっぷ、じゃんぷ。じゃんぷは週1回）

② ふれあいサロンの開設・運営

地域の方が気軽に交流できる場所として、貞教学区内の3箇所で開催・運営（ひだまり、お茶の間ハウス、しあわせの森。週1回）

③ LED電球による地域相互見守り支援「ひかり・通信」の推進

区内で延べ103件設置（平成27年2月末現在。継続86件）

※ 継続している件数の内訳 貞教学区46件、六原学区25件、今熊野学区11件、清水学区4件



買い物支援



ふれあいサロン



ひかり・通信

(4) 活動の成果

区内の高齢者、とりわけ独居高齢者が、接点のある住民が少数であることやその頻度も少ない、また近隣者の転居・入院・死亡等により孤立する傾向がある等、様々な課題を抱えていることが分かった。また、男性高齢者の社会参加が課題であるとともに、元気な高齢者も多く、地域とつながることで支援が必要な方を支える人材になりうると感じた。

(5) 今後の展望

報告事項3「平成27年度東山区区民提案・共汗型まちづくり支援事業について」（8ページ）に記載のとおり

2 観光支援コミュニティプロジェクト

(1) 目的

車いすの介助や荷物の一時預かり等、ちょっとした親切や工夫で観光客をおもてなしする店舗等が集まる観光支援コミュニティを運営。各参加店舗でのおもてなしのほか、ユニバーサルツーリズムの推進に向けた取組を実施

(2) チームメンバー

松高政京都産業大学准教授及び松高ゼミ

(3) 主な実施内容

① 京都・東山観光おもてなし隊の創設

当プロジェクトの趣旨に賛同いただける店舗等が集まり、平成25年4月に京都・東山観光おもてなし隊を創設

※参加店舗ー平成25年4月：29店舗→平成27年2月：46店舗

② 東山おもてなし学校

高齢者や障がい者、外国人観光客等、観光で困られることが多い方々に対する心遣いを学ぶため、平成26年10月に開校。車いす体験講習会や観光案内英会話講習会等を実施。今後も、アレルギーや視覚障害等、多様な講習会を実施予定

③ 観光客への車いすの貸出

「旅行先でも車いすを使いたい」というニーズに応えるため、東山区社会福祉協議会や東山いきいき市民活動センター等、地域の関係機関との協働により、平成26年5月から観光客へ車いすの貸出を開始



京都・東山観光おもてなし隊



東山おもてなし学校



車いす貸出事業

(4) 活動の成果

- 地域と学生、行政とが協力し、ユニバーサルツーリズムの推進に取り組んだ活動が評価され、平成26年度に「近畿運輸局バリアフリー推進化功労者表彰」及び「京都市ユニバーサルデザイン大賞」を受賞
- ツイッターのフォロワー数が1,000を超えるなど、コミュニティの発信力が増し、認知が広がってきた。

(5) 今後の展望

報告事項3「平成27年度東山区区民提案・共汗型まちづくり支援事業について」（8ページ）に記載のとおり

3 手しごと職人のまち東山再発見プロジェクト

(1) 目的

手しごとの価値や意義、重みを再発見し、こうした技術が集積する東山区の魅力を広く発信することを通じて、伝統的な手しごとの活性化と継承に貢献する。

(2) チームメンバー

関本徹生京都造形芸術大学教授をリーダーに、地域の住民、大学生や区役所関係職員の参画によりチームを構成

(3) 主な実施内容

- ① 職人弾丸ツアー（伝統ルート、手技ルート、歴史ルートなど）
普段は見ることのできない、職人の工房を巡り、直接話を聞くツアーを、プロジェクトとして、これまでに5回開催（延べ165人参加）
- ② 職人データベース制作
手作りの品の素晴らしさの発信や、職人同士の情報共有のために、簡単に素材別（木、紙、食など）・技法別（描く、彫るなど）で検索できる職人データベースを制作
- ③ 職人サミット
職人と参加者が手しごと職人の未来を考え、手しごと産業の活性化を図るためのワークショップをこれまでに3回開催（延べ137人参加）



職人弾丸ツアー



手わざ体験コーナー



職人サミット

(4) 活動の成果

- ①ヒアリング調査実施によるデータ構築
- ②職人情報の幅広い発信
- ③サミット宣言として、東山オリジナル商品開発の第一歩

平成26年度は東山職人3DAYSとして、手わざ体験（57人参加）や、元藤平陶芸跡地を利用して、職人が製作した器で飲み物や和菓子などを提供する「職人 CAFE&BAR」なども実施（2/12～14）

(5) 今後の展望

報告事項3「平成27年度東山区区民提案・共汗型まちづくり支援事業について」（8ページ）に記載のとおり

4 空き家の活用促進プロジェクト

(1) 目的

空き家発生の防止策及び空き家の活用促進に向け、各学区の空き家情報の把握、活用促進策の検討や持ち主へ活用促進を啓発する取組を行う。

(2) チームメンバー

井上えり子京都女子大学准教授（生活造形学科）をリーダーに、地域の住民、大学生や区役所関係職員の参画によりチームを構成

(3) 主な実施内容

① 空き家の実態調査

聞き取り調査や外見の老朽具合を確認するなどの調査を全学区で実施し、それぞれの地域の特徴等を比較したうえで、各学区への提案を行う。

② 「地域連携型空き家流通促進事業」の活用を検討する地域への支援 市の事業である標記制度の活用を希望する町内会等に対して、助言などの支援を実施



空き家調査

【京都市地域連携型空き家流通促進事業】

空き家に関する諸問題に取り組む町内会等の地域の自治組織に対して、京都市がコーディネーター（不動産事業者等の専門家）の紹介や、取組に係る経費の助成を行う制度。東山区内では、六原学区、粟田学区、今熊野学区、有済学区の4学区が活用

(4) 活動の成果

- ・ 各学区の空き家状況の聞き取り調査を実施し、空き家の現状について把握した。
- ・ 空き家の調査を通して、地域に助言や提案を行うことで、地域連携型空き家流通促進事業に取り組む学区が増加した。

(5) 今後の展望

全学区の調査が終了し、京都市においても条例の施行など、空き家関連の制度整備が一定進んだことから、本プロジェクトは今年度をもって終了する。

東山区のキャッチフレーズについて

1 キャッチフレーズ案

「ゆっくり流れる時間が楽しい東山区」

2 趣旨

エネルギーや資源を大量に消費し、ゴミを大量に排出する大量生産・大量消費型社会や、より速く・より遠くに・より便利になどを目指す高度経済成長型社会の限界が見えてきた今日、日本を含むいわゆる先進国といわれる国々では、これまでの消費・経済成長本位の社会における価値観やライフスタイルを見直して、新たな価値観を生み出し、新たなライフスタイルに転換することが重要な課題となっている。

一方、東山区は、悠久の歴史が生み出した数多くの有形無形の文化財や山紫水明の自然に恵まれ、京都市が次世代に残したい“京都をつなぐ無形文化遺産”に選定した「和食の文化」、「花街の文化」、「地蔵盆の文化」が受け継がれ、伝統産業の職人の技が今でも息づいている。

このような東山区においては、職人の技が生み出す質の良いものを長く使い、東山区ならではの豊かな自然や文化を味わいながらゆっくりとした時間を楽しむことが、東山区の魅力を活かすことにつながるものと考えられる。しかし、近年そのような価値観やライフスタイルが東山区においても持ち続けられにくくなってきていることや、他方でこのような時代・社会だからこそ東山区におけるそのような価値観やライフスタイルを大事にすべきであるという声も聞かれる。

以上のことを踏まえて、東山区基本計画の今後の推進に当たり、東山区ならではの価値観やライフスタイルのあり方を表現する短いキャッチフレーズを作成し、それを区内外の多くの人々に向けて発信することにより、東山区の魅力をアピールする。

3 キャッチフレーズ活用事例案

- 市民しんぶん東山区版での常時発信
- 東山区ホームページでの常時発信
- 東山区が作成する印刷物の表（又は裏）表紙等での発信
- 東山区が実施する事業等での発信